

# 蓮沼中学校

## 蓮中祭を振り返って

10月25日(土)に開校70周年記念蓮中祭(舞台発表の部)が行われました。今年度も“生徒が主体的に取り組む”行事として、合唱コンクールでは各学年各クラスの音楽系の生徒たちが、午後の舞台発表では3年生を中心とした実行委員の生徒たちが、企画から当日の運営までを担いました。

合唱コンクールでは、全学年各クラスのこれまでの取り組みの様子が体育館内に広がる歌声からうかがうことができました。また、舞台発表でも、I組を含め、各有志団体がパフォーマンスを通して自分たちで創る行事を盛り上げようとする気持ちを感じることができました。そして、午前・午後と各発表に対し、多くの生徒のみなさんが実行委員と共に行事を創り上げようとしていたことにも、“新しい”伝統としての蓮中祭の姿を見ることができました。

生徒のみなさんは、それぞれに終わった後の感想は違うと思います。この日に向けて取り組んだ自分の姿を振り返り、みなさん自身の成長に繋げていくことを期待します。また、次年度以降に向けた課題の改善も行い、さらに質を高め、持続可能な“良き”伝統となるよう願います。



## 自ら考え、判断し、行動し、そして“学ぶ”

先日、3年生との三者面談の際、上級学校への進学を希望する生徒へ「何をしに上級学校へ行きたいですか。」と質問しました。すると、ある生徒は「その学校の部活動に興味を持ったので・・・。」と。また、他の生徒は「在校生の方々が行事に対して楽しそうに取り組んでいて・・・。」など、さまざまな理由を聞くことができました。そんな中、私はある2つの表現に“んっ?!”と考えさせられました。それは「勉強しに・・・。」と「学習しに・・・。」です。

「勉強」と「学び(学習)」という2つの言葉は、大きく捉えればほぼ同じ意味として扱うことができると思います。しかし、実際の言葉としての意味に違いはないのでしょうか。

「勉強」という言葉の意味を検索すると、「学問や技芸を学ぶこと、学校の教科や実用的な知識・技術を習得すること」とあります。一方で、「学ぶ」という言葉は「教をを請うたり見習ったりして知識や技能を身につけること、経験から物事をさること」とあります。“学校”を文字通り“(学)ぶ場所(校)”と考えれば、生徒のみなさんは、ここ蓮沼中学校で各教科の授業も含めた生活を通して知識や技能を身につけ、それらを活かして考え、判断して行動し、その経験から物事がどのようにしたら正しい筋道で進んでいくのかをはっきりと理解しようと、取り組んでいることとなります。

では、生徒のみなさん、ほぼ毎日通う“学校”でどのようなことを学んでいるのでしょうか。例えば、クラスでの正しさを「複数人が所属するクラス内で、生徒一人ひとりがお互いに安全で過ごしやすい場所」であるとすれば、みなさん自身の言動を“どこで”、“どのようにしたら”クラスがその正しさの方向へ進んでいくのでしょうか。では、それが学年や学校行事、部活動であればどうでしょうか。さらに、校外生活へと広げて、SNS上であれば・・・。

2学期も残り1ヶ月弱となります。3年生は自身の進路選択に向けた取り組みが大詰めを迎えます。改めて自身を見つめ直し、冷静に考え、判断(進路選択)することで多くの学びに繋げていくことを願います。1、2年生は2学期までの生活を振り返り、成長できたこと、改善しなければならぬことなど、三者面談で確認し、これからの生活へ向けて自ら考え、判断し、行動することを通して、学びを深めていくことを願います。

(文責 井原)